



黒潮

4月号

令和5年4月10日(月)

いちき串木野市立串木野中学校

「チーム串中」



未来ある生徒の健やかな成長を目指して

学校長 森本 信一

4月6日に新入生109人を迎え、2年生107人、3年生116人、教職員37人、合計369人で令和5年度の串木野中学校がスタートしました。今年度も「校訓」を教育活動の中心に据えて、取り組んでいこうと考えています。

【校訓】	【めざす生徒像】
勉学	自主的・継続的に学び、自分の良さを伸ばす生徒
健康	心身ともに健康で、明るく、人間性豊かな生徒
責任	決まりを守り、義務を遂行して責任を果たす生徒
礼儀	あいさつを正し、品位を保つ生徒
勤労	働くことの大切さを自覚し、進んで協力し奉仕する生徒

本校は「校訓」として、「勉学」「健康」「責任」「礼儀」「勤労」の5つを掲げ、この校訓に「めざす生徒像」を関連付けることで、目標の具体化が図られています。この「めざす生徒像」は、時代と共に見直され、記録を見てみると、今の「めざす生徒像」が示されたのは、平成16年となっています。この時から18年が経過し、社会の状況も随分様変わりしました。特に、この3年余りは、新型コロナウイルス感染症の影響で、予想もしていなかった変化に見舞われました。このウイルスの影響にもようやく収束の兆しが見え始め、5月8日からの感染症法上の分類が5類に見直されることで、いよいよ以前の生活を取り戻すこととなります。というより、新たな生活が始まると考えた方が良いのかもしれない。

このようなときに、18年前に示された「めざす生徒像」を見てみると、全く色あせていないことがわかります。よく「不易」【いくら世の中が変わっても変わらないもの】と「流行」【世の中の変化と共に変わっていくもの】という言葉が用いられますが、社会の変化の中で様々なものが「流行」しても、社会人となるために中学生時代に身に付けてもらいたいものは変わらない「不易」ということだと思います。

さて、4月は年度が替わる節目です。生徒はそれぞれ入学・進級し、新たに立てた決意や目標を達成するために、一日一日を大切にしながら学校生活に臨むこととなります。そして、職員は新たなクラスや生徒とともに1年後のゴールを目指し、持てる力を最大限に発揮して教育活動に取り組もうという意欲に燃えています。

本校では、たくさんの保護者の方々に、地域からの応援団として、様々な教育活動を支援していただいております。今年度もPTA活動を充実させていくために「学級役員選出の会」を4月14日に行うことにしています。夕方の時間設定ではありますが、多くの保護者の方にお集まりいただき、役員を決定することができるよう、ご協力をよろしく願います。4月18日からは家庭訪問が始まり、5月12日にはPTA総会・部活動保護者会も予定しています。年度初めの慌ただしい時期に大変恐縮ですが、今年度の教育活動やPTA活動を円滑に進めるためにいずれも必要ですので、ご理解・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

今年度も、生徒の様子を、ホームページやブログ「串木野中学校の部屋」(裏面にQRコード)に掲載していきます。あわせて、様々な連絡事項も掲載いたしますので、どうぞご覧いただき、ご活用いただくと幸いです。

令和5年度も、「家庭」と「学校」と「地域」が一体となって、未来ある生徒の健やかな成長を目指して協力していきましょう。